

「[500人に聞く] 第14回
“テレビ(ワンセグを除く)視聴”に関する調査」ダイジェスト
“マスメディアの王者”に落日の兆し
月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.156(5月号)誌上で公開!

株式会社アイ・エム・プレスは、月刊『アイ・エム・プレス』に連載中の「500人に聞く」シリーズ(調査主体:(株)アイ・エム・プレス 調査協力:(株)マーシュ)の第14回としてテレビ(ワンセグを除く)視聴について調査を行いました。本リリースでは、同調査結果のダイジェストをお送りします。

なお本調査は、2009年4月25日に弊社が発行いたしました、月刊『アイ・エム・プレス』Vol.156(5月号)に結果全文を掲載しております。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.156の詳細は、
<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

< 調査の概要 >

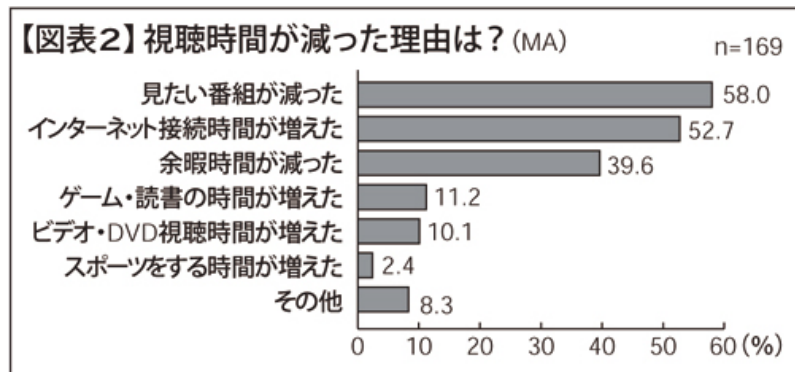
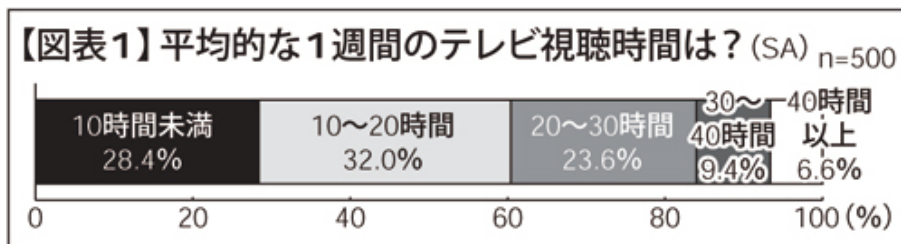
調査期間: 2009年3月13日~17日
調査対象: 全国における20~69歳の男女
調査方法: インターネットリサーチ((株)マーシュ調べ)
サンプル数: 500

< 調査結果紹介 >

テレビ視聴時間は減少傾向

まず、1週間のテレビ視聴時間を尋ねたところ、「10~20時間」が32.0%でトップ。「10時間未満」が28.4%、「20~30時間」が23.6%と続き、0~30時間以内の視聴が84.0%で大多数であった

(図表1)。従って、ざっくりと言えば1週間では15時間ぐらいの視聴時間が平均的であり、各テレビ局はこの15時間の奪い合いをしていることになる。



人は39.6%で、理由としては3番目に過ぎない。そもそも“見たい番組がない”のでは、視聴時間が減るのは

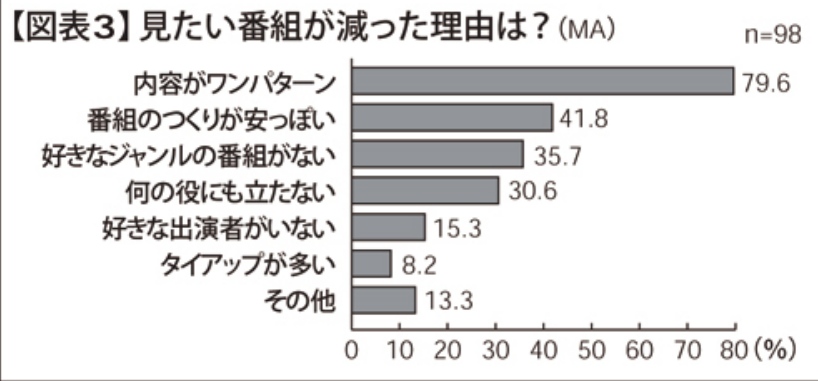
次に、この1年間での視聴時間の変化を聞いたところ、「変わらない」が52.0%で、さすが“マスメディアの王者”テレビ。以前と変わらぬ時間視聴している人は過半数を超えた。ただ、いささか気になるのは、「減った」(34.0%)が「増えた」(14.0%)を20%も上回っていることなので、その理由に付いても尋ねてみた。トップは「見たい番組が減った」で58.0%。「余暇時間が減った」のために“見られなくなった”

当然のことである（図表2）。

すべての「～が増えた」という回答も、元々はテレビを見ていた時間からのシフトであることを考慮すると、“テレビ離れ”が進行していると言えるかもしれない。中でも2番目に多い52.7%の「インターネット接続時間が増えた」は、テレビ業界的にはある意味ショックではないだろうか。最近、テレビとパソコンの融合が進み、“どちらもできる”製品が増えているし、それを“売り”にしている機種も多い。また、インフラ整備もその流れに乗り、最近の流行は“光ケーブルを自室に引き込み、テレビもインターネットもOK”というものだが、そこで選択されるのはインターネットという時代が来ているのかもしれない。

テレビとインターネットの一番の違いは何だろうか？ テレビが“放送局側から送られてくる情報を見る”だけなのに対して、インターネットは“自分で欲しい情報を探す”ことができる点だろう。テレビ局に不祥事が相次ぎ、その番組にも信頼が置けなかったら、人々は間違いなくインターネットを駆使して、自分で信頼できる情報を得ようとするだろう。もちろん、インターネットの向こうには“胡散臭い”情報がいっぱいあることは事実だが、その中から自分に有益な情報を入手する自信がある生活者が増えているのは確かだ。

前の設問で「見たい番組が減った」と回答した人に理由を尋ねた結果、「内容がワンパターン」の79.6%が断トツであった。ほぼ8割の人が“もう見飽きた”と感じている番組がかなり放送されているようだ。以下、さまざまな要因が続くが、「その他」の内容を紹介すると、“おもしろくない・つまらない”が4割弱、“お笑い関係がイヤだ”とするものが3割強あった。“お笑い”でおもしろくない制作側と、それを“つまらない”と感じる視聴者側にズレが生じているようだ（図表3）。中には「うそばかり・ヤラセが多い」という辛らつな回答もあった。



同調査のさらなる情報は以下のサイトへ！
500人に聞く・第1回～第13回バックナンバーも満載！
「アイ・エム・プレス」Webサイトはこちら！
<http://www.im-press.jp/index.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

< 株式会社アイ・エム・プレス >

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-6 聖台ビル5F

TEL：03-3815-8991 / FAX：03-3815-8957 / URL：http://www.im-press.jp/

< 本リリースに関する問い合わせ先 >

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / 販売促進 までお気軽にお問い合わせください。

TEL / FAX / URL： 同上